



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度 小・中学校中堅教諭等資質向上研修 生徒指導研修（相双地区）

- 日 時：令和4年11月4日（木） 9：50～16：15
- 会 場：万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内迎田22番地）
- 参加者：小学校教諭4名、中学校教諭3名、義務教育学校教諭3名
- 内 容：講 義「本県生徒指導の現状と課題」
 講 義「教員自身のメンタルヘルス」
 講 義「情報モラル教育」
 研究協議「課題解決に向けた具体的な指導援助」



【研修のまとめ】

広い視野から学校を組織的にマネジメントしていく立場にあることを自覚しながら、児童生徒が「安心して学べる環境の整備」を目指して、以下の点に留意していきましょう。

- (1) 本県の新規不登校児童生徒数の増加の要因として、小・中学校ともに「無気力・不安」が挙げられる。「ふくしまサポートガイド」を積極的に活用しながら、すべての児童生徒が安心して学べる学校の基盤として「一次的援助サービス」を充実させること。【本県生徒指導の現状と課題】
- (2) 生き生きとした教員の姿が児童生徒に活力を与える。自分自身のストレスマネジメントや職場の同僚同士が助け合い、支え合う環境づくりを意識すること。【教員自身のメンタルヘルス】
- (3) 携帯電話やスマートフォン、SNS に関するトラブル事例を提示するだけでなく、問題を「自分のこと」として自覚させ、様々な状況においてどう対応するかを考え続ける活動が大切であること。【情報モラル教育】

研修の感想

- 生徒指導では、三段階の心理教育的援助サービスを使い分けられるようにするとともに、学校の役割として「子どもが苦戦している状況」を理解すること、「早期発見・早期対応・未然防止」に努めることが大切であることを再確認することができました。
- 教員自身のメンタルヘルスでは、「こうあらねばならない」「・・・しなければ」と自分自身を追い込んで辛くなっていた部分を感じました。子どもたちとしっかりと向き合えるように余裕をもちたいと思いました。
- 情報モラル教育では、同じ事例についても人によって「嫌だ」「危険だ」と思うことが違って、その「ずれ」や「曖昧さ」に気付かせ、それを交流していくことが今後のトラブルを解決する上で重要だと思いました。
- 同じ校種の教員と具体的な生徒指導の事例について話し合い、課題解決に向けた対応について考えることができました。

